



茜雲

大口高校だより



鹿児島県立
大口高等学校

〒895-2511 伊佐市大口里 2670
TEL 0995-22-1441 FAX 0995-22-9227

そうだ！大口高校へ行こう。

12月1日(金)、元気こころ館で大口高校、伊佐農林高校、大口明光学園の合同学校説明会を開催しました。最後の最後まで進路を悩んでいるという生徒もいるということで、3校で協力して急遽実施しました。

大口高校は、岩田教頭先生が、①それぞれの進路希望に応じたきめ細かい指導を行っており、今年度もすでにAO入試で熊本大学理学部に合格した生徒がいることや、②総合的な探究の時間では、地域の活性化をテーマに、ダンスや音楽のイベント企画や伊佐米で作った米粉クッキーの開発などに取り組んでいることなどを紹介しました。

伊佐市教委の担当者からは、①通学のバス代半額補助、毎月最大1,000円の原付のガソリン代補助、②英検・漢検・数検等の受検料半額補助のほか、③魅力ある高校づくりのための補助金を支給しているという説明がありました。1月13日・14日に鹿児島大学で行われた共通テスト受験のため借り上げた大型タクシー代もこの補助金を活用しました。県立高校はどこも授業料そのものは同じですが、3年間の交通費やその他の出費を考えると、地元の高校が断然経済的です。



修学旅行に行ってきました!!

12月5日から3泊4日の日程で、2年生が関西方面へ修学旅行に行きました。初日は大阪の道頓堀、京都の嵐山での散策。2日目は京都の自主研修。清水寺や金閣寺といった定番の観光地だけでなく、伏見まで足を延ばしたり、レンタルの着物で京の街中を散策するなど、自分たちで計画したオリジナルな旅行を楽しみました。そして、3日目はお待ちかねUSJです。最終日は、奈良の東大寺を参観して帰路に就きました。両手に持ちきれないほどの手荷物は、費用を出してくれた親や餞別をもらった祖父母へのお土産だそうです。

口には出さなくても、ちゃんと感謝の気持ちは持っているようです。



現代版組踊「鬼武蔵-TADAMOTO-」

12月24日(日)、伊佐市文化会館で、「チームちむどん」による『鬼武蔵-TADAMOTO-』の公演が開催されました。郷土の名将・新納忠元の生涯を、琉球の伝統芸能「組踊」の手法を取り入れて、ダイナミックに表現したステージです。

昼夜2回公演で、昼の部の主役新納忠元役は昨年引き続き2年生の三重優仁さん。そして、忠元の妻芙蓉役には1年生の吉永実央さんが抜擢されました。

そして、今回の公演で卒業する3年生の山口友愛さんは、表情豊かな踊りを存分に見せてくれました。また、晩年の忠元の輿を担いでステージを盛り上げたサッカー部の皆さんの活躍も光っていました。まさに縁の下の力持ちです。全ての観衆を感動の渦に巻き込む、素晴らしい公演でした。



大口高校サッカー部、ライバル鹿実と鶴丸を次々と撃破！

大口高校サッカー部は、倉内監督の下、20人を超える部員たちが日々激しい練習に励んでいます。土日は練習試合の遠征を繰り返し、来たるべき大会に向けて調整中です。

ただし、今回はOBチームの話題です。12月2・3日に始良総合運動公園で開催された「第2回鹿児島県高校サッカー部OB交流フェスティバル」に出場しました。平均年齢51歳の大口高校は、初戦、鹿児島実業高校と対戦し2-1で勝利。その後、鶴丸高校に2-0で勝利しましたが、翌日鹿児島商業高校に0-5で敗退しました。心の底からサッカーを楽しんでいる姿が印象的でした。



2学期クラスマッチ

12月21日、2学期クラスマッチが、男子はサッカー、女子はバレーボールで開催されました。熱戦の末、男子は1年1組、女子は3年Bチームが優勝を収めました。

また、昼食時には音楽部によるミニコンサートが中庭で行われ、生徒たちはクリスマスソングを楽しみました。



楽しいALTの授業

クリスマスを目前に控えた12月19日に行われた1年生の英語の授業は、ALTのジョシュア先生を交えての“イギリスにおけるクリスマス”について学習しました。ジョシュア先生が出す問題に、タブレットや電子辞書で調べながら解答。

見事正解を答えた永野凜空さんは、「ALTの授業はわくわくして楽しい。高校に入って英語が好きになった。」と語ってくれました。



伊佐にヒカリプロジェクト2023

毎年恒例の「伊佐にヒカリプロジェクト」ですが、今年は大口ふれあいセンターが閉鎖されており、菱刈のまごし館で開催されることになりました。

大口高校からは1～3年生の男女10数名が準備の段階から当日の運営までボランティアで参加しました。今年も、大口高校のブースも出して、オリジナルグッズなどを販売しました。もちろん、大口高校米(マイ)クッキーも出品しました。

ライトアップは2月24日までです。



伊佐の農業見学ツアー

12月16日、伊佐市の農業現場などを視察するバスツアーが伊佐市で開催されました。ミニトマト栽培のビニールハウス、ネギの集積加工場、菱刈カントリーエレベータなどを視察し、農家の方々との意見交換などを行いました。

ツアーを企画したのは、大口高校OBで食の安心・安全推進パートナーの海老原純一さんです。

海老原さんは、昨年3月まで農業高校の先生をされており、定年退職後も引き続き食育に関する活動を精力的に行っています。



全校生徒にクリスマスプレゼント

2学期終業式にサンタさんから生徒と教職員全員に米粉クッキーがプレゼントされました。サンタの正体は洋菓子店「トリコロール」店主の御書敬さん。

伊佐米の米粉を使った「大口高校米(マイ)クッキー」を一緒に開発し、さらに箱の包み紙をデザインしてくれた大口高校生に感謝の意を込めてプレゼントして下さったとのこと。



ふるさとCM・動画大賞2023

12月31日、第21回KKBCM・動画大賞の審査会が開催されました。

伊佐市は、「ここがい〜さ」という豊かな自然やそこに住むほのぼのとした人々を描いた作品で臨みました。

地域おこし協力隊の坂元紫乃さんが製作したもので、審査の結果は、「審査員奨励賞」でした。

画像は、CMに出演している笑顔の眩しい今吉菜緒さん。



2学期表彰

2学期の終業式に先立ち、右の表彰が行われました。(紙面の関係で最上位のみ掲載)

- 第36回海音寺潮五郎記念読書感想文コンクール 3年 山口友愛 (優秀賞)
- 第15回伊佐市社会福祉作文コンクール 2年 山下結愛 (優秀賞)
- 第25回南九州市かわなべ青の俳句大会 2年 赤池真心 (特選)
- 第66回鹿児島県児童生徒作文コンクール 3年 今吉奈緒、2年 藤元泉帆、1年 堀ノ内咲良 (以上入選)

※ 当日は、実用英語技能検定準2級に合格した6人についても表彰されました。